

中学 2 年 道 徳 授 業 案

日 時 平成 2 7 年 7 月 2 2 日 (水) 5 校時
生 徒 2 年 C 組 男子 1 6 名 女子 1 7 名 計 3 3 名
授 業 場 2 年 C 組 教 室
授 業 者 吉 岡 康 一 朗

1 主 題 名 『 B (6) 思 い や り ・ 感 謝 2 - (2) 』

2 資 料 名 『 最 後 の 年 越 し そ ば 』 (出 典 : 「 中 学 生 の 道 徳 2 自 分 を 考 え る 」 廣 濟 堂 あ か つ き)

3 主 題 設 定 の 理 由

(1) ね ら い と す る 価 値

人は他の人とのかかわりの中で、互いに助け合い、協力し合いながら他者の思いやりに触れ、それを素直に受けとめたときに自ずと感謝の気持ちを抱くようになるものである。また、思いやりの心は他の人の立場を尊重しながら、親切にし、いたわり、励ます生き方において表現されるものであり、思いやりの心の根底には、人間尊重の精神に基づく人間に対する深い理解と共感がなければならない。

そのため、思いやりの心は、単なるあわれみや同情と考えられるべきものではなく、他の人とのかかわりの中で、温かい人間愛の精神を深め、これを身につけることが極めて大切である。

中学生の時期は、人間としての生き方についての関心が強くなり、他の人とのかかわりがなくては生きていくことができないということも理解できるようになる。しかし頭では分かっている、とたく利己的、自己中心的な言動に走ることも少なくない。また、自分の立場を大事にするあまり、他の人のことよりも自分のことを優先することが多く見られる時期でもある。このような時期に「思いやり」とはどのようなことであるかをしっかりと考えさせ、他の人とのかかわりの中で自分を振り返ることは極めて重要であると考ええる。

< 生 徒 観 省 略 >

そこで、本時では、ガンで余命二ヶ月の『父』に対して、家族としてどうすることが思いやりなのかを小集団で討議させることを通して、思いやりについて考えを深めさせたい。また、資料の後半で『父』が自分の最後の願いよりも、他者の気持ちや立場に立って考えることを優先したことを通して、他者を思いやることとはどのようなことなのかを深く考える機会としたい。

(2) 資 料 に つ い て

本時で用いる資料「最後の年越しそば」では、余命二ヶ月であることを知ってしまった筆者の父親が、最後の正月を自宅で家族と過ごすことを願う。しかしようやく外泊許可がおりたときには「帰らない」と言い出し、自分の願いよりも、身寄りのないお年寄りに年越しそばを振る舞うことを選んだ。この父親に対する告知の是非や生き様を通して、思いやりとはどのようなことなのかを考えさせることができる資料である。

4 本時案

(1) 本時のねらい

ガンの告知や父の生き方に込められた思いやりを考えることを通して、自分のことばかりを考えず、相手の気持ちや立場に立って考えようとする思いやりの心を持って人と接しようとする心情を養う。

(2) 本時の展開 _____中心発問 ○発問 △補助発問 [] 予想される生徒の反応

主な学習活動	教師のかかわり	指導展開上の留意点
<p>1. 資料前半の範読を聞き、末期ガンと診断された父への思いやりについて考える。</p> <p>【告知する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残りの命を有効に使わせてあげたい ・やりたいことをさせてあげたい。 ・知らないままではかわいそう ・逆に不安にさせてしまう ・治ると思わせてあげたい <p>【告知しない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショックが大きすぎる ・絶望させてしまう ・パニックになる ・かわいそう <p>2. 思いやりの心で大切なことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場や気持ちになって考えてあげること ・相手のことを尊重すること ・優しく接する ・相手のためを思う <p>3. 資料後半の範読を聞き、自分より他者を優先した『父』の思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と過ごしたい ・やり残したことをしたい <p>身内のいないお年寄り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわいそう、気の毒 ・身内がない気持ちがわかる ・普段の関わりへの感謝 ・自分のできることを誰かにしてあげたい <p>4. 父の生き方に込められた思いやりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけでなく、いろいろな人のことを考えて生きること ・人のために何かをしてあげること ・相手の気持ちを尊重すること <p>5. 本時の感想をワークシートに記入する。</p> <p>6. 教師説話を聞く。</p>	<p>1. 資料前半を範読し、末期ガンを家族の心境になって、告知することと、告知しないことのどちらが思いやりなのかを考えさせる。</p> <p>○「末期ガンだと診断された父に、告知しますか、告知しませんか？理由も含めてワークシートに書いてみよう」</p> <p>○「どちらが思いやりがあるといえるだろうか？班で話し合ってみよう。」 (どちらかの意見が多い場合)</p> <p>△「どんな場合でもそうしますか？」</p> <p>2. 思いやりの心情について考えさせる。</p> <p>○「<u>思いやりとは何だろうか？</u>」</p> <p>△「他の人の気持ちはどう接したらわかるのですか？」</p> <p>3. 自分の願いよりも、お年寄りのことを優先した『父』の優しさについて考えさせる。</p> <p>△「父はどんな思いで『帰りたい…』と言ったのだろうか？」</p> <p>○「どうして家に帰ることよりも年越しそばを振る舞うことを選択したのはなぜだろうか？」</p> <p>△「このお年寄りたちじゃなくても作ってあげただろうか？」</p> <p>4. 父が最後まで大切にした生き方について考えさせる。</p> <p>○「『父』が最後まで大切にした思いは何だろうか？」</p> <p>5. 本時の感想をワークシートに記入させる。</p> <p>6. 教師の説話</p>	<p>資料1 配布 ワークシート配布</p> <p>個人判断</p> <p>討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えあげたうえで行うことが、思いやりであることに気づかせたい ・道徳的価値について考えを深める発問。 ・父親のお年寄りに対する深い理解や共感に気づかせたい。 ・思いやりのある行動に込められた気持ちに気づかせたい。